指宿文化遺産手帖

～郷土芸能編～

平成31年度文化庁文化芸術振興費補助金
（地域文化財総合活用推進事業）

指宿まるごと博物館実行委員会

中小路唐人踊り（なかこうじとうじんおど）

中小路唐人踊り保存会

江戸時代、琉球から薩摩に渡った使者が伝えた踊り。
文化交流から生まれた異文化情緒の溢れる郷土芸能。

由来・エピソード

中小路唐人踊りは、約180年前の出来事が基になったと言われている。

保存会によると、江戸時代、琉球王国は徳川家などに貢物を届ける使節団を派遣していた。あるとき、琉球の使節団が船で帰る途中、大風雨に遭い、命からがら現在の山川港に避難した。天候が回復せず、避難生活が長期間に及んだため、食料を欠くようになった琉球王国の使節団の使者らは、指宿や喜入前之浜方面に分散し、分宿した。琉球王国の使者が避難先で披露した踊りが、現在まで伝承されている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／中小路公民館
◎本　番：金毘羅神社六月灯／グリーンパーク中小路

さまふり

高野原さまふり保存会

地元の熱意で三度復活。
伝えてきた！

由来・エピソード

高野原地区のさまふりは、参勤交代の下りの唄で、道中の情景を唄ったものだと言われている。

高野原の先輩たちが、江戸時代の中期、流行小唄の中からより良い唄と踊りを選び、さまふりがつくられたという。踊りは、単調ではあるが、上品で優雅。唄はゆっくりと朗々としていて、懐かしさを感じる。さまふりの名称は、歌詞の4番で唄われる「さまふり」にちなんだものである。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／高野原公民館（7月上旬～）
◎本　番：高野原地区六月灯／高野原公民館（7月）

玉利奴踊り（たまりやっこおど）

玉利奴踊り保存会

全国どの地域の奴踊りとも異なる
独特な踊りと軽快な動きに魅了される

由来・エピソード

由来は良く分かっていない。歌詞の内容から、江戸時代初・中期頃に成立したものとも言われている。

保存会によると、「戦後に350年と言っていたから、今は400年ぐらいになるんじゃないかなぁ」とのこと。

結婚式や棟上げなどのお祝いの時にも奉納されていたことから、縁起の良い踊りとされている。踊り手は、顔にベンガラと墨で化粧をするが、これは出兵の際、妻子が別れを惜しみ泣いてすがるのを、誰かわからなくするためという説があるという。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／玉利公民館
◎本　番：六月灯／玉利公民館（7月）
　　玉利地区敬老会 ／玉利公民館（9月）

宮坂田踊り（みやさかたおど）

宮坂田踊り保存会

参勤交代の疲れを癒す武士の踊り!
男らしい大ぶりな踊りと上品な服装による優雅な芸能!

由来・エピソード

この踊りの由来について、保存会によると、島津氏のお殿様一行が参勤交代で江戸へ上るとき、道中で長旅の疲れを癒すために踊られたものとのこと。

宮坂田踊りは、戦前は、旧暦2月10日に行い、4年に1回、揖宿神社の浜下り（ハマデバイ）の時に宮ヶ浜だけで踊られていたが、戦後は春の彼岸の中日、揖宿神社のハマデバイの時に、宮ヶ浜か潟口の御旅所で踊られていた。

この踊りでは、踊り手に合わせて唄が唄われ、太鼓がたたかれる。踊り手、唄手、太鼓・鉦（かね）が一体となるところが特徴。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／宮公民館（毎月１回）
◎本　番：六月灯／揖宿神社（7月）
　　宮地区敬老会／宮公民館（9月）

相撲甚句（すもうじんく）

下吹越相撲甚句保存会

行司のユニークな紹介と、力士たちの力みなぎる踊り

由来・エピソード

相撲甚句は昭和の初期より、当地に五穀豊穣を祈願する奉納踊として存在していた。終戦直後の揖宿神社の浜下りや昭和29年の指宿市誕生の際などの節目で踊りを披露している。踊り手は青年団、婦人部によって連綿と踊り継がれている。現在は、下吹越相撲甚句保存会として地区内外の行事等で披露しながら、一致団結して地域を盛り上げ、保存継承活動に取り組んでいる。力士が身につけるまわしには、四股名が記されているが、市内の名所や特産品にちなんだものだ。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／下吹越公民館
◎本　番：敬老の日（9月の第3月曜日）
　　／下吹越公民館

田之畑棒踊り（たのはたぼうおど）

田之畑棒踊り保存会

めでたい踊りとして地域で親しまれた郷土芸能。
地域の人々によって、代々受け継がれていく。

由来・エピソード

保存会によると、「田之畑棒踊り」の由来は、島津義弘公が文禄・慶長の役で大活躍したことを祝い踊られたものが、今に伝わっているそうだ。最近では、新築祝いや結婚式などのお祝い事で披露する踊りとして、保存・継承されている。

頭につけた兜をあしらった鉢巻と色鮮やかな衣装、そして、体全体を使って、威勢の良い掛け声とともに跳ねる動作に特徴がある。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／田之畑営農研修センター
　　時期／不定期
◎本　番：特に決まっていない。

中川ごちょう踊り
中川ごちょう踊り保存会

由来・エピソード

文禄・慶長の役の折、武士の指揮を高めるため、女形1人を含む踊りをしたところ士気が上がったと言い伝えられ、昔から祝事や祭典、雨乞いなどの際に踊られてきたと言われている。

また、江戸時代、参勤交代の大名行列の送り迎えに士気を鼓舞するため踊り始められたという説もある。

踊りは昭和11年頃を最後に一時途絶えていたが、現在指導にあたっている西中川さんの父が手帳に書き記した譜面が見つかったことをきっかけに、かつての踊り手たちが懸命に記憶の糸をたぐり寄せ、昭和53年に42年ぶりの復活を遂げた。それ以来、地域の人々によって大切に継承されている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／中川自治公民館
◎本　番：高祖神社　毎年1月1日11時～

宮之前唐人踊り
宮之前唐人踊保存会

由来・エピソード

保存会によると、江戸時代、琉球王国から島津家へ貢物をする際に、次の貢物が来るまでの期間、人質を置いたとされ、その人々が島津家の指宿別邸に居候し、歌い踊ったものが、「唐人踊り」として伝えられているとされる。

この踊りを踊った宮之前地区の人々が、戦争に出兵したところ、戦死者が一人もいなかったという話があり、めでたい踊りとして伝承されている。現存する最も古い記録は、明治25年頃のもの。近年は、地域の小中学生への伝承活動にも取り組んでいる。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／宮之前営農研修センター
　　8月16日の盆踊り披露に向けて、小中学生に指導（8月）
　　元旦の奉納に向けて練習（12月）
◎本　番：光明寺境内での元旦奉納

新西方棒踊り
新西方棒踊り保存会

由来・エピソード

保存会によると、踊りは他地区と同様、田植え前後の豊作祈願であったらしいが、その後、神社の祭りや諸行事に踊られるようになったものである。往時の薩摩隼人の気質そのままの勇壮活発なもので、六尺棒、三尺棒を持った6人が1組となり。入り乱れて打ち合う。技術的にもなかなか難しい一大剣劇で、服装は義士討入りそのままと言ったところのこと。

衣装には白・赤・青のたすきをかけているが、激しい踊りに合わせてたすきも大きく揺れ動く様が魅力的である。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／新西方中央公民館
　　今和泉小学校運動会での披露に向けて、夏休み期間中に小学生（4・5・6年生）へ指導する
◎本　番：今和泉小学校運動会（1回／3年）
　　新西方区　区民祭（2月）

士官節
士官節保存会

由来・エピソード

保存会によると、日清・日露戦争の頃、出兵していく兵士の武運長久を祈って、この地区の人々が着物姿で太鼓や三味線で伴奏しながら踊ったと伝えられている。

戦後は、新築の棟上やお伊勢講の時など、細田西を中心に踊られていたと言う。それが途絶えてしまい、平成12年に「士官節保存会」が発足した。

ひょっとことおかめの面が描かれた浴衣をしゃれた帯で腰留めし、ゆったりとした楽しい踊りである。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／細田西公民館
　　時期／10～5月までの月1回
◎本　番：新西方区民祭／新西方中央公民館（2月）
　　今嶽神社六月灯／今嶽神社（7月）

岩本棒踊り
岩本棒踊り保存会

由来・エピソード

江戸時代、第21代島津家当主島津吉貴の子である因旛三郎忠卿は体が弱く、療養するために錦江湾を回っていた。忠卿は今和泉を気に入り、島津家の分家領地としてもらい住み、日常の雑事などは漁民・商人ではなく農民を登用した。そのため農民達からの敬愛の念は厚かった。農民達が病弱な領主を慰めるために棒踊りを踊ったことが岩本棒踊りの由来とされており、現代まで踊り伝えられているという。三尺棒と六尺棒の2種類の棒が使用される。激しくペースが早い踊りが特徴である。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／今和泉校区公民館
◎本　番：今和泉校区運動会／今和泉小学校（9月第1日曜日）
　　今和泉小学校運動会／今和泉小学校（10月第1日曜日）

チョイノチョイ
小牧チョイノチョイ踊り保存会

由来・エピソード

保存会によると、島津氏第17代当主の島津義弘が、天正20年（1592）からの文禄の役と、慶長2年（1597）年からの慶長の役に参戦した際、無事に凱旋した祝いとして踊られたと言われている。また、昭和3年頃、前之浜地区の踊りを習って踊ったとも言われている。チョイノチョイでは、腰を低くしてひざとももを高く上げたり、扇と刀を持つ両手を高く上げたり、両手を広げながら回る所作が特徴的である。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／小牧営農研修センター
　　9月の敬老会披露に向けて、小学生に指導（8月）
◎本　番：敬老会／小牧営農研修センター（9月）
　　今和泉校区文化祭／今和泉小学校（2月）

小牧四ッ竹踊り

小牧四ッ竹踊り保存会

由来・エピソード

保存会によると、以前踊られていた「四ッ竹」踊りを、西森ヨシさん（故人）を中心に、10数年前に復活させた。「四ッ竹」とは、平たい2枚の竹片を両手に重ねて持ち、唄に合わせて手を開いたり、閉じたりしながら打ち鳴らす素朴な楽器のこと。小牧に伝えられている。服装は、鉢巻、かすりの着物にたすき、草履履きで道中歌「丹波」に合わせて踊りながら入場し、踊りの体制を作っていく。整列したらテンポの速い軽快な踊りが始まる。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／小牧営農研修センター
　　9月の敬老会披露に向けて、練習が行われる。
◎本　番：敬老会／小牧営農研修センター（9月）
　　今和泉校区文化祭／今和泉小学校（2月）

市指定文化財 下門猿の子踊り

下門猿の子踊り保存会

由来・エピソード

江戸時代に、今和泉の領主、島津忠卿が日向で出会った猿使いの芸に感激し、その猿使いを連れてきて、春秋2回、領民の労を慰めるために踊らせたものが、起源と言われている。

猿は、田や山の神の使いと考えられていたことから、豊作を祝う意味も含まれているという説もある。猿の子踊りは、猿使いの命令に従って、親猿、中猿、子猿が一生懸命に動こうとはするが、なかなか上手くいかない様子が微笑ましい踊りである。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／池田小学校体育館
◎本　番：池田小学校運動会／池田小学校
　　イッシー祭り／池田小学校（11月）

庄五郎踊り

庄五郎踊り保存会

由来・エピソード

保存会によると、池田信濃守が居城した「清見城」を当時の頴娃・山川・指宿を治めていた肝付兼政が攻め入り、城内での激しい戦いとなったが、池田軍勢が善戦し、肝付軍勢を退けたと言われている。この戦勝を喜ぶ宴で、池田軍勢の武士「庄五郎」が殿様の前で面白く踊った踊りが「庄五郎踊り」の始まりとされ、現在でも石嶺地区で守り受け継がれている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／石嶺自治公民館
◎本　番：●石嶺地区　花見（4月）
●池田校区　六月灯（8月10日）　●石嶺敬老会（9月）
●池田小学校・校区運動会（10月）
●指宿酒造　新酒祭り（りえもん祭）（10月下旬）
※全ての行事に毎年出演するとは限らない。

福元棒踊り

福元棒踊り保存会

由来・エピソード

この棒踊りは、明治時代から山川福元区で踊られていた郷土芸能であり、一説では、港町であった山川に琉球から伝わったと言われている。一時途絶えていたが、平成6年度にむらづくり運動の一環として「やまがわ豊祭」を復活させた際に豊祭につきものであった棒踊りも復活された。以後、毎年9月の敬老会、11月のやまがわ豊祭で披露されている。

また、保存会は、年8回山川小学校の3年生から6年生までの児童に、棒踊りの由来や取組みの現状等についての講話と、踊りの指導をする伝承活動を行っており、後継者育成にも力を入れている。

小学生は、学校の運動会、福元区敬老会、町区　敬老会、山川みなと祭り等で、棒踊りを披露し、地域の人たちから喜ばれている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／福元公民館
◎本　番：敬老会／福元公民館（9月）
　　山川豊祭／福元公民館（11月）

山川漁り節

福元区天神下婦人会

由来・エピソード

不漁の際に祭事を行い、大漁を祈願して「漁り節」を唄いはやしたという「沖得祭」の故事に由来している。山川漁り節はこの「漁り節」を再編したもので、昭和43年の明治100年記念式典に歌と踊りが披露された。

以来、福元区天神下婦人会では、作詞・作曲と振付を手がけた竹原喬之助（原口源治）氏の弟子らに教えを受け、地元の祭りや敬老会で披露している。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／福元公民館
◎本　番：山川みなと祭り／山川港水揚げ場（6月）
　　福元菅原神社六月灯／菅原神社（7月25日）
　　敬老会／福元公民館（9月）
　　山川豊祭／福元公民館（11月）

成川そば切り踊り

成川そば切り踊り保存会

由来・エピソード

時代は不明だが、山川成川の前薗集落に目の不自由な祈祷師（座頭）がやってきた。村人の平安を祈祷し相談相手にもなっていたこの祈祷師を、人々は親しみをこめ「あからんどん」と呼び、小屋を作ってあげたという。保存会によると320年以上前の12月14日、この小屋は火事になってしまったが、村人たちはそば汁で火を消し止めた。その後、村人たちは再び火災を起こさないようにと、旧暦12月14日を「あからんどんの日」とし、そばを作り、客に振る舞うようになった。そば切り踊りは、このエピソードを後世に伝えるため、考えられたものである。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／成川いこいの家
◎本　番：長寿会　学習発表会／指宿市老人福祉センター
　　（3月、11月）

井手方棒踊り（いでほうぼうおど）

井手方棒踊り保存会

由来・エピソード

保存会によると、井手方の棒踊りの開始時期は詳らではないが、明治時代に集落内に三度大きな火事があり、火事による災害予防の祈願と、地域住民と家畜の無病息災を祈念して、アッカドンと馬頭観音に奉納するようになったと言われている。

また、「防火のために棒踊りを奉納すればよい」と旧金峰町（現南さつま市）の平木佐次郎からお教わり、踊るようになったとも言われている。さらに、「昔、田布施の堀木いちじろうと云う人が井手方の若者達に伝授した。」とも言われている（『鹿児島県の民俗調査』）。いわば、「火伏せ」の踊りである。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／井手方集落センターの前庭
◎本　番：敬老会（10月）
井手方集落センター（アッカドン前）→
馬頭観音→本番の会場→井手方集落センター

成川南方神社神舞（なりかわみなかたじんじゃかんめ）　枚聞神社神舞（薩摩一の宮 ひらきじんじゃかんまい）

成川神舞保存会　神舞保存会

由来・エピソード

枚聞神社神舞は、毎年10月14日の夜7時から枚聞神社ほぜ祭の前夜祭として「神舞」が奉納される。かつては、神社の氏子が舞手となり奉納していたが、後継者不足となり昭和50年代から当時の開聞町青年団が引き継いだ。

成川南方神社神舞は、慶安2年に島津光久の前で上舞を舞ったと記されていることから、江戸時代の前半には存在していたと思われ、360年以上の歴史をもつ。かつては、33番あったが、現在は14番の神舞が舞われる。3年に1回踊られており、次は令和4年。

どこに行けば見られるの？

◎本　番：10月27日・28日に近い土曜日・日曜日
（土曜日）8:30~18:30頃
グレ回り1日目（成川区一円、その他の地区）
（日曜日）8:30~16:30頃
グレ回り2日目（成川区一円、その他の地区）
17:30~ 神事（成川保育園　前庭）
18:00~22:30頃
神舞奉納（成川保育園　前庭）

◎練　習：場所／枚聞神社　参集殿
時期／毎年9月上旬から10月中旬
◎本　番：開聞郷土芸能祭／
開聞総合体育館
サブアリーナ（9月第1日曜日）
枚聞神社　前夜祭／
枚聞神社　境内（10月14日）
枚聞神社　例大祭／
枚聞神社　拝殿（10月15日）

小川区棒踊り（おがわくぼうおど）

小川区棒踊り保存会

由来・エピソード

この棒踊りは、明治38年日露戦争の祝勝の時、今和泉村池田区字大迫の大迫長兵衛氏の指導により始まったと、当時の青年団の書類に残されている。

その後、一時途絶えていたが、昭和38年に小川区柔道スポーツ少年団の結成を機に復活された。

昭和56年に小川区棒踊り保存会が結成され、それ以来、子どもに指導することで踊りを受け継ぎ今日に至っている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／小川区集落センター
◎本　番：敬老会／小川区集落センター（9月）

大山棒踊り（おおやまぼうおど）

大山棒踊り保存会

由来・エピソード

その昔、島津義弘公が文禄・慶長の役の戦勝を祝って踊らせた説や、財政ひっ迫の折、開田のための農民動員をした25代藩主・重豪公が余興として踊らせた説など諸説あるが、農作業の合間のレクリエーションだったと伝えられている。踊りの仕草に地面をたたく動きが多いため、眠っている地の霊をおこして、豊作を願うのだという。

現在の会長らが、昭和49年に25年ぶりに復活させ、現在まで踊り続けられている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／大山集落センター
◎本　番：六月灯／大山集落センター（7月）
敬老会／大山集落センター（9月）

大山琉球人傘踊り（おおやまりゅうきゅうじんかさおど）

大山琉球人傘踊り保存会

由来・エピソード

薩摩を訪れていた琉球使節団は山川港を中継地としていたが、その道筋に大山があったため、地域の人々と交流があった。その使節団の様子を歌や踊りにしたものが教え継がれ、集落の祝い事や、農村慰安会などで披露されてきた。後継者がいないことで一時途絶えていたが、昭和62年、27年ぶりに復活し、現在に至っている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／大山集落センター
◎本　番：六月灯／大山集落センター（7月）
敬老会／大山集落センター（9月）

利永琉球傘踊り（としながりゅうきゅうかさおど）

市指定文化財

利永琉球傘踊り保存会

由来・エピソード

江戸時代、琉球使節団が薩摩に上る際には、山川港に滞在し、成川～大山～利永を通って枚聞神社に参詣した。この際、道すがら踊られた踊りをまねて創られたと言われている。利永琉球傘踊りの源流は、「上り口説」とされる。踊りの形は特徴的で、笛を吹く子どもたちの踊りには可愛らしさも感じられる。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／利永小学校体育館
◎本　番：山川みなと祭り（6月）
利永小校区合同運動会（9月）
利永地区敬老会／利永集落センター（9月）

浜児ヶ水棒踊り

浜児ヶ水棒踊り保存会

五穀豊穣と無病息災を祈る棒踊り。
浜児ヶ水区の誇りとして、大切に受け継がれる。

由来・エピソード

山川町誌によると、浜児ヶ水区の棒踊りの始まりは、現在の県立山川高校の前身である山川町立山川青年学校創立4周年記念体育祭（昭和17年9月ごろ）に各地区の青年団が出場することになり、その当時、浜児ヶ水区には棒踊りがなく、福元区の青年団から棒踊りを習ったことがきっかけで、今日まで継承されている。

現在では、子ども会活動の一環で、徳光小学校3年生から6年生が保存・継承活動に取組んでいる。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／浜児ヶ水集落センター又は徳光小学校
　　時期／5月上旬、9月下旬～10月上旬
◎本　番：浜児ヶ水区運動会／浜児ヶ水運動広場（5月）
　　徳光小学校運動会／徳光小学校（10月）

市指定文化財 上野猿の子踊り

上野猿の子踊り保存会

ひと目見たときから
可愛らしい猿の踊りのとりこになる。

由来・エピソード

かつて、鍋島岳の山中に「塩手どん」という社が祀られ、多くの猿たちが仕え、人里離れた川尻の海岸に塩汲みに行くことが日課だった。

塩汲みの途中、村人たちが木に吊るしていた「ダゴ」の匂いに誘われて、猿が右往左往して仕方がない。

そこで、困った村人は、武士に猿たちを追っ払ってくれと頼んだ。武士は村人たちに「ダゴ」を分けてもらい、猿たちにいろいろと芸をさせ、褒美に「ダゴ」を振舞った。

猿たちは満腹になり列をなして帰っていった。

この様子を踊りにしたものが上野猿の子踊りである。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／上野地区営農研修館
◎本　番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館
　　（8月最終日曜）
　　上野地区敬老会／上野地区営農研修館（9月）
　　開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

上野棒踊り

上野棒踊り保存会

なぎなた同士で打ち合い、甲高い音が響く中、
激しく勇ましい踊りが繰りかえされる

由来・エピソード

この踊りの由来は、田歌や示現流棒術から生まれた鹿児島独特の芸能である。島津忠良公（日新公）が庶民の忠誠心を培うために踊らせたものと言われている。

唄の一部の「おしろは山で前は大川」は吉田城を讃えたものと言われている。

三尺棒、六尺棒を持って素早く回転しながら激しく打ち合う姿が特徴である。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／上野地区営農研修館
◎本　番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館
　　（8月最終日曜）
　　上野地区敬老会／上野地区営農研修館（9月）
　　開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

川尻剣舞

川尻民踊保存会

漁村を守る女性たちの勇ましさを表した踊り。
女性の強さと勇ましさが輝く。

由来・エピソード

保存会によると、剣舞は大正末期ごろから伝承されていたとされる説があるほど、長い歴史があるそうだ。昭和46年に川尻地区の納骨堂が竣工された記念に披露されたころから、川尻地区の女性による「川尻民踊保存会」が剣舞や大漁節を踊るようになったと言われている。開聞町郷土誌によると、川尻は藩政時代から漁村として発展し、地区内の男性はほとんどが出漁していた。そのため、地区の行事や家事は女性の手に委ねられていた。男性たちの留守を守る女性は、男性に負けないように剣舞を踊り、地域を盛り上げていたようである。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／川尻ふれあい交流館（川尻校区公民館）
　　時期／毎月第1・第3木曜（変更あり）
◎本　番：川尻区御伊勢祭／川尻地域内（6月上旬）
　　開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館　サブアリーナ（8月最終日曜）
　　川尻地区敬老祝賀会／川尻ふれあい交流館（9月中旬）
　　開聞地域文化祭／開聞総合体育館　サブアリーナ（11月）

川尻棒踊り・鎌踊り

川尻棒踊り保存会

開聞岳の麓で踊り継がれている
活気に溢れた棒踊りと鎌踊り

由来・エピソード

棒踊りは田歌や示現流棒術から生まれた鹿児島独特の芸能であり、島津忠良(日新公)が庶民の忠誠心を培うために踊らせたものといわれている。

川尻では、戦時中一時途絶えていたが、終戦後の昭和26年に青年団が復活させ、その後郷土芸能として保存会を結成し受け継がれている。

古くから漁師町として栄えた川尻ならではの、非常にテンポの速い立ち回り、活気に溢れた踊りが特徴である。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／川尻ふれあい交流館
◎本　番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館（8月最終日曜）
　　川尻区敬老会
　　開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）等
　　※子どもは川尻小学校・川尻区合同運動会で披露

田中手拍子踊り

田中手拍子踊り保存会

元々は、男性のみの踊り。
それを地域の女性が引き継ぎ、今に守り伝えてきた！

由来・エピソード

田中手拍子踊りがいつごろから始まったかは定かではない。かつては男性のみで踊られていたが、現在は婦人会を中心に継承されている。

踊りは、明治時代に盛んに行われていた伊勢神宮への参拝をした人々が、淡路島の手拍子踊りを見習い故郷に伝えたものとも言われている。

歌には「阿波の徳島」「三邦丸」などがある。「三邦丸」は、薩摩藩が英国から購入した蒸気船。この航海の様子が唱われている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／田中公民館
◎本　番：開聞郷土芸能祭／
　　開聞総合体育館（8月最終日曜）
　　開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

谷村手拍子踊り
谷村手拍子踊り保存会

一生懸命踊る踊り手の姿が愛おしい。

由来・エピソード

谷村手拍子踊りは、開聞仙田地区に伝わる手拍子踊りのひとつ。

明治時代に盛んであった伊勢神宮の参拝の人達が淡路島の手拍子踊りを見習い、それを故郷に伝えたものとされている。

薩摩藩主島津斉彬公が、幕末に英国から購入した「三邦丸」の唄に合わせて踊られており、同じ地区の田中手拍子踊りと共通している。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／谷村公民館
◎本　番：敬老会／谷村公民館（9月）
開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館（8月最終日曜）
開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

下仙田棒踊り
下仙田棒踊り保存会

激しさ中にも優雅さが感じられる!

由来・エピソード

この踊りの由来は、田歌や示現流棒術から生まれた鹿児島独特の芸能である。島津忠良（日新公）が庶民の忠誠心を培うために踊らせたものと言われている。

唄の1番は「おしろは山で前は大川」は、吉田城を讃えたものと言われている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／下仙田地区営農研修センター
◎本　番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館（8月最終日曜）
下仙田地区敬老会／下仙田地区営農研修センター（9月）
開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

開聞しだら節
開聞しだら節保存会

開聞に伝わる神話を今に伝える舞。
美しさと悲しさを唄と舞で表す郷土芸能。

由来・エピソード

開聞しだら節は、開聞に伝わる伝説の一つが基になっていると言われている。伝説によると、開聞岳の麓「天の岩屋」で雌鹿の口から生まれた「瑞照姫」は、才色兼備であったといわれ、13歳の時に名前を「大宮姫」に改めた。後に、天智天皇の后として宮中に召されたが、その美貌と出世は、多くの女官達の妬みの的になっていった。実は、大宮姫には秘密があり、足の爪が二つに割れていた。まるで"牛の爪"のようであったそうだ。大宮姫は、いつも足袋をはき、見せないようにしていた。宮中の女官達は、大宮姫の爪の噂を確かめるため、大宮姫と雪合戦をして遊んだ。ふとしたはずみで、大宮姫の足袋が脱げ、大宮姫の素足が女官たちに見られ、辱めを受けることとなった。それがきっかけで大宮姫は宮中を離れて故郷の開聞に帰る決心をした。十数人のお供とともに船で開聞に帰ることとなった道中、大宮姫は、天智天皇との別れを悲しんでいたため、それを慰めるため、お供が考案した唄と舞が「しだら節」と伝えられている。現在、受け継がれている「開聞しだら節」は、大宮姫が宮中から開聞に帰る道中をあらわしたものと言われている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／開聞総合体育館　サブアリーナ
9月初旬に行われる開聞郷土芸能祭に向け、8月下旬から練習が始まるまた、各種イベントへの出演に併せて、随時練習が行われる
◎本　番：開聞郷土芸能祭（8月最終日曜）
場所／開聞総合体育館　サブアリーナ

開聞龍宮太鼓
開聞太鼓保存会

演奏曲「黎明」
郷土に伝わる神話・伝承を和太鼓で紡ぐ。
一心不乱に撥を打つ姿が見る者を魅了する。

由来・エピソード

昭和55年、全国的なまちおこしの流れの中で、青年団が「開聞太鼓同好会」として和太鼓に取り組んだのがはじまり。その後、独立した活動を続け、地域に根ざした郷土芸能としての存続と継承を願い、「開聞太鼓保存会」と改称した。現在では「開聞龍宮太鼓」を通称としている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／開聞山麓ふれあい公園
◎本　番：開聞夏祭り／開聞山麓ふれあい公園（8月11日（山の日）予定）
開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館（8月最終日曜）
枚聞神社ほぜ祭り前夜祭／枚聞神社（10月14日）
開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）
菜の花マラソン・菜の花マーチ応援（1月）

脇浦古琴節
脇浦古琴節保存会

古式ゆかしい出で立ちで
開聞岳に向かって奉納するかのように踊られる

由来・エピソード

脇浦古琴節の由来は良く分からないが、古来より脇浦に伝わる郷土芸能である。当初は、女性のみで踊られていた。

歌詞の内容から、夫婦でお伊勢参りをして、子供の病気（疱瘡）が治るのを祈願していることが分かる。

鹿児島県内各地で踊られる「疱瘡踊り」の唄に似ているとのこと。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／脇浦公民館
◎本　番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館（8月最終日曜）
脇浦火の神祭り／脇浦農村公園（10月）
開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

入野物袋琉球人踊り
入野物袋琉球人踊り保存会

元来は、男踊りと女踊りで一つの琉球人踊り。
地域の誇りとして、現在では女性が守り伝えている

由来・エピソード

琉球使節団一行が薩摩に上る際には、山川港に滞在し、枚聞神社に参詣した。琉球から薩摩までの往来の情景を描いた唄にあわせて踊るのが琉球人踊りである。開聞入野地区・物袋地区では、指宿や山川に伝わる琉球人踊りを伝え聞いた人々が、酒の席での踊りとして、見よう見まねで踊ったのがはじまりとされている。本来は「男踊り」と「女踊り」2つ揃っての入野物袋琉球人踊りであったが、現在では「女踊り」のみが残っている。

どこに行けば見られるの？

◎練　習：場所／入野公民館
（開聞十町西部地区多目的集会施設）
◎本　番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館（8月最終日曜）
開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

指宿まるごと博物館とは

「指宿まるごと博物館」とは、指宿市全体を博物館ととらえ、市域にある文化財や自然、産業、郷土芸能、伝統行事、イベント、各種施設等のすべてを貴重な展示品として位置づけて、これら市民共有の財産である「指宿の宝」を守り、継承し、活用しながらまちづくりや人づくりに生かしていく考え方やその実践のことです。

郷土芸能継承地域位置図

南北に長い鹿児島県は、郷土芸能の宝庫。その総数はおよそ千種類ともいわれる。

指宿にも様々な郷土芸能が継承されている。秋の夜、神を迎えて厳かに舞われる枚聞神社や南方神社の「神舞」。琉球王国との貿易の歴史を物語る「琉球傘踊」、「唐人踊り」。今和泉島津家の旧領地のみに伝えられる「猿の子踊り」。参勤交代の疲れや退屈を慰めたことに由来する「さまふり」や「宮坂田踊り」。鹿児島独特の芸能「棒踊り」。太鼓踊りの系譜をひく「中川ごちょう踊り」など、江戸時代にその成立の由来をもつものも多い。一方で、古代の伝説に基づいた「しだら節」。戦国時代に起源を持つという「庄五郎踊り」、「チョイノチョイ」。明治時代のお伊勢参りの様子を残した「脇浦古琴節」。淡路島に起源を持つという「手拍子踊り」。そのほかに産業の姿を伝える踊りや近・現代の芸能や、起源が全く不祥なものまで、36の団体がおよそ20種類の郷土芸能を伝承している。これら多種多様な郷土芸能が市域に広く残っていることは、古くから南北の文化が流入していた指宿の特性を示している。そして、これらの郷土芸能を伝え守ることは、指宿の歴史を伝え守ることでもある。

パンフレットに関するお問い合わせ先

指宿まるごと博物館実行委員会
指宿市考古博物館
時遊館 COCCO はしむれ
〒 891-0403 鹿児島県指宿市十二町 2290
TEL 0993-23-5100
http://www.minc.ne.jp/cocco/index.htm

文化庁